

植物多様性センターの「ナキリスゲのもふもふ」

この時期、雑木林を散歩すると植物の茎に白い綿アメのようなものがついているのをよく目にします。その正体はじつはアブラムシです。秋に咲くナキリスゲの穂にカンスゲワタムシというアブラムシがついて、白い蠟物質をつけているのです。本来、カンスゲの仲間には秋には咲かないので、正確にはナキリスゲワタムシとするべきですが、常緑の葉をつけたスゲだったので、うっかり、カンスゲワタムシとなってしまったのでしょう。



11月～12月：秋に咲いて結実した雌小穂に白い綿がつく



綿菓子のようにカンスゲワタムシがついたナキリスゲの穂



掌の上でほぐしてみると、種子より小さいアブラムシがいた



9月開花、雌小穂から雌しべが伸びているところ